

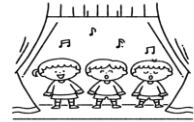
たんぽぽだより



令和5年2月13日
川口市立舟戸幼稚園
年中たんぽぽ組

寒い日でも子供たちは、園庭で鬼遊びをしたり、なわ遊びをしたりしながら元気に遊んでいます。たんぽぽ組で過ごすのも、残り少なくなってきました。毎日が楽しく充実したものになるように、一人一人の成長を見つめ直し、更に楽しく実りのあるものとなるように、一日一日を大切に過ごさせていきたいと思います。

大好き！ ごっこ遊び



子供たちは遊びの中で、身近な動物になりきったり、お家ごっこやお店屋さんごっこをしたりして、お面や食べ物、車など遊びに必要な物をつくり、つくったものを使いながら自分の思いやイメージを表現して遊んでいます。

降園前の紙芝居や絵本の読み聞かせの時間が大好きなたんぽぽ組さん。「今日は何の紙芝居？」「昨日の本の続きが聞きたいな」と、毎日楽しみにしています。2学期後半からは、いろいろな物語に興味をもつようになり、『手ぶくろ』『3匹のこぶた』『3匹のやぎのがらがらどん』『大きなかぶ』など、簡単な繰り返しのあるお話にふれてきました。クラスみんなでお話にでてくる役になって言葉のやりとりを真似したり、自分なりに動いてみたりしながら、クラスの友達とイメージを合わせて遊ぶ楽しさや、自分なりに表現する楽しさ、一緒に言葉を合わせる楽しさを味わいました。いろいろな役を交代しながら、みんなで一つのことに取り組む楽しさを味わえるようにし、今まで遊んだリズムをクラスみんなで رفتり、遊戯室のステージで好きな歌を歌ってコンサートをしたり、いろいろな方法で表現することを楽しんできました。



クラスみんなで劇遊び

たくさん読んだ絵本の中で、一番のお気に入りには、『おだんごぼん』です。子供たちは真剣な表情で聞き入りながら、お話を聞いていました。翌日からは「おいしそうなおだんごぼんだな」「おまををひとのみにするぞ」と、お話ごっこが始まりました。お遊びの中で『おだんごぼん』のお話に興味が高まってきました。教師も一緒に動いたり、言葉を言ったりしながら、みんなで一緒に楽しむことで、少しずつ子供たち一人一人がお話をイメージし、自分なりの言葉や動きで表現するようになってきました。

「今日はオオカミやろうかな」「明日はリスさんのお面をつかってリスさんになりたい」など、大好きなお面をつくり、遊ぶ時もお弁当の時も1日中お面をかぶって遊ぶ姿が印象的でした。

お家の人に見てもらいたいな



年長組の劇遊びを見たり、年長組や年少組がお客さんになって劇遊びを見てもらったりするようになると、「お家の人にも見せたい」「お家の人にもお客さんになってもらいたい」という思いが高まってきました。

保育参観当日は、劇遊びを楽しんでいる一人一人の姿をぜひ見て頂きたいのですが、緊張したり、不安を感じたり、興奮してしまったりと、子供たちは様々な姿を見せることと思います。どの姿も一人一人の思いの表れと受け止め、また、今までの頑張りを十分にご理解頂いて、最後まで温かい目で見守り、応援と大きな拍手をよろしくお願いします。

この劇遊びをきっかけに、クラスみんなで一つのことに向かって頑張った達成感や満足感を十分に味わい、進級に向けての大きな自信と期待につなげていきたいと思っています。

